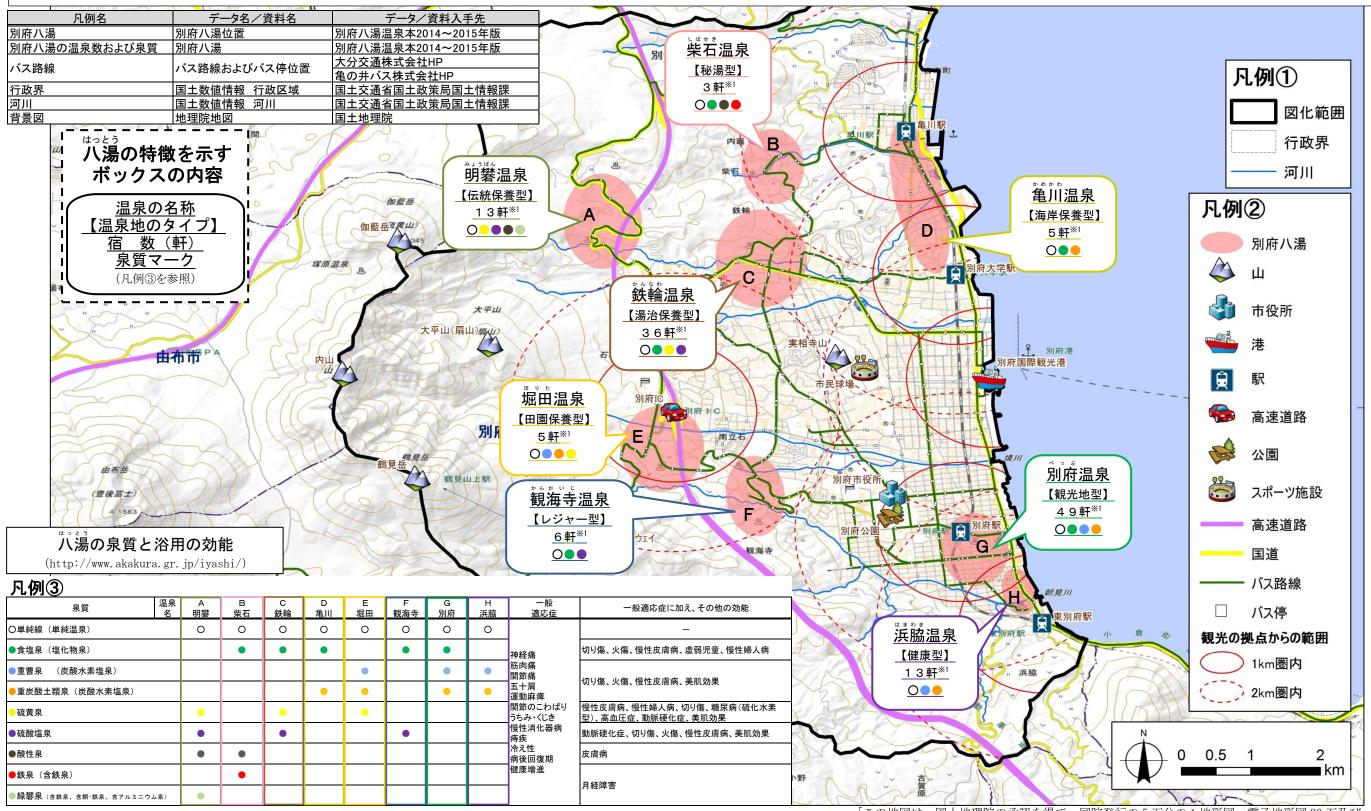
図③:別府八湯の特徴

日本全国では観光立国、観光立県を目指し、国や自治体が観光関連の施策を推進しており、地域再生の手段の一つとして観光への注目度が高まりつつある。これに呼応するように、別府地区でも郷土資源の一つである温泉を中心に観光客の誘致に力を注いでいる。とりわけ、様々な泉質を有する別府パ湯は、それぞれの性格を明確にして差別化を図りながら共生する道を模索している。ここでは、別府パ湯の概略や主要交通路、ターミナルからの距離等を図案化し、別府パ湯の観光マップの一つとして観光客や観光産業への情報提供図を作成した。



^{※1:}温泉宿数は『別府八湯温泉本 2014~2015 年版』における「別府八湯温泉道八十八湯リスト」掲載数

※2:泉質は『別府八湯温泉本 2014~2015 年版』に掲載されている「別府八湯泉質表」による

「この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、電子地形図20万及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平28情複、第2号)」

明礬温泉

【概要】

「湯の花小屋」からは白い噴煙が立ちのぼり訪れる人を楽しま せてくれる。江戸時代は「朔ばん」の採取地で質量とも全国一に なり、採取事業の降盛とともに湯治場として発展した。今は名産 の「湯の花」とともにザボン湯も有名で湯の香りと甘酸っぱい香り が鼻孔をくすぐり、肌もつるつるになると大好評。

【アクセス】

- ・大分自動車道別府 IC から明礬方面へ車で約10分
- ・IR 別府駅から明礬方面へ車で約20分
- ・別府国際観光港から明礬方面へ車で約15分
- ・JR 別府駅西口/東口→「明礬」下車(乗車時間約 30 分)



895年に醍醐天皇が、1044年には後冷泉天皇が病気治療のた めご湯治されたと伝えられている。江戸時代に柴の化石が見つ かり、「柴石」と呼ばれるようになった。

優れた自然景観は近くに森林遊歩道を有し、鉄輪・明礬と共に 国民温泉保養地に指定されている。

アクセス】

- ・大分自動車道別府 IC から柴石方面へ車で約15分
- ・JR 別府駅から柴石方面へ車で約20分
- ・別府国際観光港から柴石方面へ車で約15分
- ・ TR 別府駅東口→「柴石温泉入口」下車 (乗車時間約 30 分)



概要】

八湯の中で最も温泉場らしく感じられる鉄輪温泉はおびただし い湯煙が立ちのぼり、まさに別府を象徴する景観である。狭い道 の両側には、多くの共同浴場・旅館・土産品店がひしめいている。 さらに鉄輪独自の入湯貸間旅館も健在で、遠来の入湯客が絶え ない別府の代表温泉地である。

アクセス】

- ・大分自動車道別府 IC から鉄輪方面へ車で約10分
- ・ JR 別府駅から鉄輪方面へ車で約 15 分
- ・別府国際観光港から鉄輪方面へ車で約10分
- ・ TR 別府駅西口→「鉄輪」下車 (乗車時間約 20 分)
- IR 別府駅東口→「鉄輪温泉」下車 (乗車時間約 25 分)





【概要】

江戸時代より、海岸に豊富な温泉が湧出し天然砂湯は亀川温 泉の名物であった。又、その頃は別府の北の玄関として豊前小倉 への交通の要衝でもあったため旅人の疲れを癒す湯治場として 栄えた。現在は、周辺には温泉を活用した病院や療養施設、保 養所を数多く有している。

アクセス】

- ・大分自動車道別府 IC から亀川方面へ車で約15分
- ・JR 別府駅から亀川方面へ車で約10分
- ・別府国際観光港から亀川方面へ車で約5分
- ・JR 別府駅西口/東口→「亀川駅前」下車など(乗車時間約 25 分)



【概要】

湯治場として江戸時代に開かれ、その頃立石の湯から堀田温 泉と呼ばれるようになった。豊富な温泉に恵まれていた堀田温泉 は、交通の要衝であったため、長旅の疲れを癒す旅人たちの憩 いの場として栄えた。今でも田んぼや谷あいから盛んに硫気が噴 き出していて、豊富な温泉は市内に給湯されている。

【アクセス】

- ・大分自動車道別府 IC から堀田方面へ車で約3分
- ・IR 別府駅から堀田方面へ車で約10分
- ・別府国際観光港から堀田方面へ車で約15分
- ・ TR 別府駅西口→「堀田温泉前」下車 (乗車時間約 15 分)





温泉場としては、海抜 150m で別府八湯のうちでも一番見晴ら しが良い。昭和6年の大火後、復興し観光温泉場として急速に発 展。現在では別府を代表する大型リゾートホテルが連立し、レジャ 一の殿堂となっている。又、地熱の利用も盛んで、照明、暖房等 に活用しているホテルもある。

【アクセス】

- ・大分自動車道別府 IC から観海寺方面へ車で約10分
- ・TR 別府駅から観海寺方面へ車で約10分
- ・別府国際観光港から観海寺方面へ車で約15分
- ・TR 別府駅西口→「スギノイパレス」下車など (乗車時間約 10 分)



概要】

(伊予国嵐土記に「速見の湯」として記されているが本格的脚光 は江戸時代である。明治に入ると別府湾の築港、日豊本線や別 大電車の開通、又、掘削技術の導入等で泉源数、温泉施設・温 泉宿とも増加した。さらに大正・昭和と温泉施設も充実、次第に市 街地が拡大されて別府八湯の中心となる。

【アクセス】

- ・大分自動車道別府 IC から別府駅方面へ車で約15分
- ・JR 別府国際観光港から別府駅方面へ車で約10分
- ・ IR 別府駅から駅前通りを徒歩で約10分

H 浜脇温泉



【概要】

別府温泉発祥の地で浜から温泉が湧き出る様子から「浜わき」 の地名が生まれた。鎌倉初期には、朝見八幡の創立、江戸時代 には港町・温泉町・門前町として陸海交通の要衝で急速に発展。 今でも昔風の旅館が並び、明治・大正時代の花街の名残もとどめ ている。

【アクセス】

- ・大分自動車道別府 IC から浜脇方面へ車で約15分
- ・JR 別府駅から浜脇方面へ車で約10分
- ・別府国際観光港から浜脇方面へ車で約10分
- ・ JR 別府駅東口→「浜脇」(乗車時間約 10 分)

データ名/資料名	データ/資料入手先
写真	別府市HP
	別府八湯温泉道HP
八湯の概要およびアクセス	別府市HP
	BEPPERちゃんねるHP